



喜

竹内栖鳳



人 間 栖 鳳

生誕二六〇年
知られざる竹内栖鳳

CELEBRATING
160 YEARS OF
TAKEUCHI SEIHO:
THE MAN BEHIND
THE PAINTER

2024年

3月9日[土]—7月1日[月]

※会期は変更となる場合がございます

第Ⅰ部：3月9日[土]—5月6日[月・休]

第Ⅱ部：5月18日[土]—7月1日[月]

開館時間＝10:00-17:00 (入館は16:30まで)

会場＝高島屋史料館 企画展示室

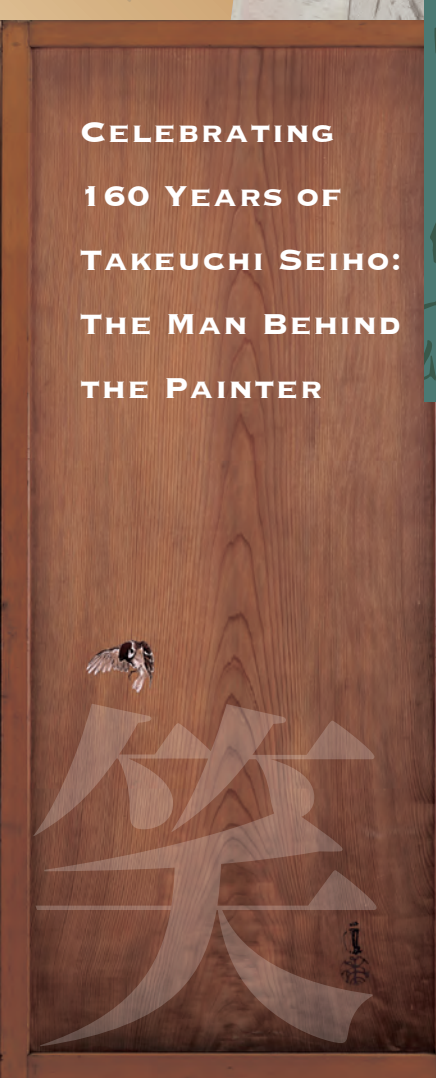
休館日＝火・水曜日 [入館無料]

※5月9日[木]～17日[金]は展示替のため休館

高島屋史料館

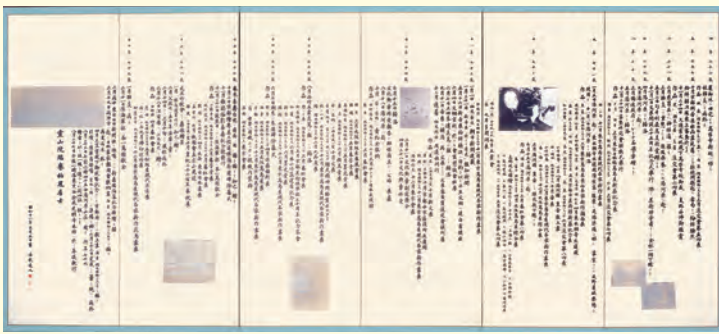
Takashimaya Archives

 Takashimaya

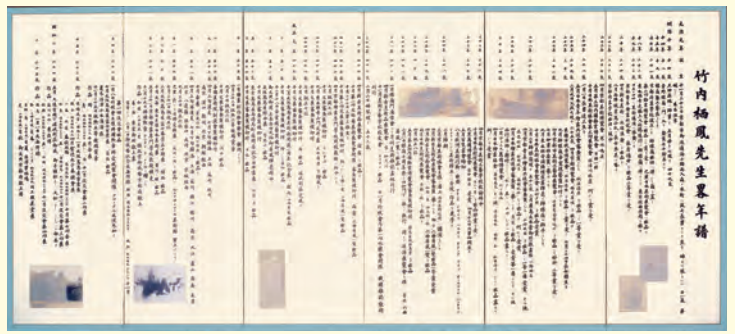


怒

笑



竹内栖鳳年譜屏風 六曲一双 1943年 海の見える杜美術館蔵【I部】



竹内栖鳳先生享年譜



《アレタ立に》1909年【II部】

近代日本画の巨匠 竹内栖鳳(1864—1942)は、20代半ば頃より、高島屋の画室に画工として勤務していました。東洋と西洋の絵画表現を融合し、日本画を革新したといわれる栖鳳。実はその素地は、高島屋での仕事で培われたといっても過言ではありません。なぜなら、明治期の高島屋は、輸出用染織品の下絵制作のため、外国の雑誌や画集、写真集などを収集し、栖鳳ら若い画工と共に、世界で通用する“新しい絵”を研究していたからです。京都では唯一の海外事情に触れることができた画室は、若き日の栖鳳が研鑽を積んだ場でした。やがて、栖鳳監修のもと、高島屋が次々に製作した“美術染織品”は各国の博覧会で高い評価を受け、製品は続々と海を渡っていきました。当時、世界の人々を魅了した栖鳳と高島屋の仕事は、近代日本史において特筆されるべきものといえるでしょう。

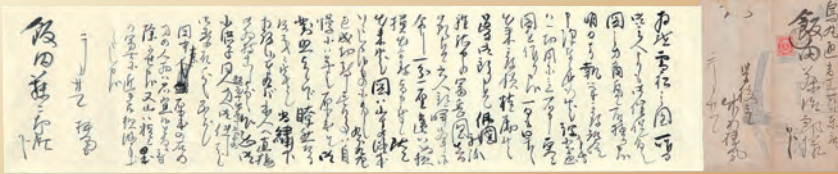


《小心胆大》1909年【II部】

その生涯を通じて高島屋とは深い関わりを持った竹内栖鳳。生誕160年を記念して開催する本展では、代表作から書簡まで、高島屋史料館所蔵品を余すところなくご覧いただけます。喜び、怒り、詫び、笑う、一知られざる「人間栖鳳」の素顔をご紹介します。

※本展は会期をI部・II部に分け、展示作品を入れ替えて構成します。

- 所蔵先の記載のないものは高島屋史料館蔵
 表面作品(上から/いずれも高島屋史料館蔵)
 ・杉戸《鶏の図》(部分) 年代未詳【I部】 ・長襦袢《龍》(部分) 明治中期【I-II部】
 ・鉢《老松》(部分) 明治一大正期【II部】 ・杉戸《雀》(部分) 年代未詳【I部】
 ・《春秋花卉彩画孟》(部分) 1893年【II部】



《小心胆大》1909年【II部】 《竹内栖鳳書簡 飯田藤二郎宛》1899年【I部】



《ベニスの月》1904年【I部】



《国瑞》1937年【II部】



《家鴨》四代飯田新七喜寿祝画帖 1935年頃【II部】

イベントのご案内

※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。①～③いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。

要申込み・抽選制

- ① 講演会「竹内栖鳳と近代京都画壇」
 ■講師＝森光彦氏(京都市京セラ美術館学芸員)
 ■4月14日【日】13:00～14:30
 ■会場＝多目的ルーム
 ■定員＝20名

要申込み・抽選制

- ③ 古文書講座「栖鳳の書簡を読む」
 ■講師＝高井多佳子(高島屋史料館研究員)
 ■6月16日【日】13:00～14:30
 ■会場＝多目的ルーム
 ■定員＝15名

要申込み・抽選制

- ② 講演会「竹内栖鳳と高島屋」
 ■講師＝廣田孝氏(京都女子大学名誉教授)
 ■5月26日【日】13:00～14:30
 ■会場＝多目的ルーム
 ■定員＝20名

学芸員によるギャラリートーク
 会期中の毎週土曜日14:00～(約30分)
 ※お申込み不要、開始時間までに企画展示室にお集まりください。

【併催】誕生65周年「ローズちゃん大行進」アーカイヴス展示室にて開催

高島屋のコーポレートマスコット「ローズちゃん」。総勢100体を超えるローズちゃんが大集合！昭和のCM映像やレコード音声、貴重なデザイン画も初公開します。アレタ立にローズちゃん 2013年



【アクセス】

南海電鉄・大阪メトロ「なんば駅」、近鉄・阪神「大阪難波駅」より徒歩約10分
 近鉄・大阪メトロ「日本橋駅」5・10番出口より徒歩約8分
 ※専用駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

【住所】

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋3-5-25
 高島屋東別館3階
 TEL. 06-6632-9102
<https://www.takashimaya.co.jp/shiryokan/>

